

グローバル経済の中の中国国有企業改革について

中国人民大学経済学院
楊瑞龍教授

一、中国国有企業改革の流れ

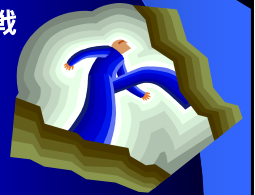
- 中国国有企業改革は大体に三つの段階を経過した。
- 1、「放権譲利」段階 - 権利を手放せ、利益を企業に譲ることである。
- 2、株式制度を導入し、近代企業制度を構築する段階
- 3、国有経済戦略の調整段階。



- 2003年のGDP 11.7万億元、2004年のGDP 13.65万億元、16500億ドル。そのうち私営は25%を占めている、国有は25%を占めている、混合経済は30%を占めている、三資企業は20%占めている。約9%の年平均成長率の中、非国有経済の貢献率は6.7%。

二、グローバル経済の中の中国国有企業直面している挑戦

- 1、制度規則からの挑戦
- 2、規制緩和からの挑戦
- 3、海外企業との競争の挑戦
- 4、知識経済時代の挑戦



三、中国国有企業改革の中の緊急課題

- 1、企業は行政から離れること。
- 2、国有資産の流失問題。
- 3、国有企業に超圧的な社会負担を解除する問題。
- 4、独占的な企業の規制緩和問題。
- 5、国有商業銀行の改革問題。
- 6、職場から辞めさせる職員と現役職員の利益を保護する問題。
- 7、国有株を持つ減らすことと資本市場を整備する問題

四、グローバル経済の中の中国国有企業改革一層深める構想

- 第1に、国有企業を分類して改革する。
- 第2に、企業構造の再編成。
- 第3に、完全な企業の技術はメカニズムを打ち出し、知識経済的時代の挑戦を迎える。
- 第4は、改革は管理を促進する。
- 第5は、企業改革のために必要とした外部環境を育成する。
- まず、社会保障制度の構築と整備；
- 次は、資本市場次第に整備すること；
- 3番目は法律制度を整備すること、企業行為に対する法律的な機能を強める。

The End

Thank you!